

會學濟經學大國帝都京

# 叢論濟經

號六第 卷五十二第

行發日一月二十年二和昭

## 論叢

社會黨の農民獲得運動 . . . . . 法學博士 河田 嗣郎

租 稅 道 義 . . . . . 法學博士 神戶 正雄

徳川時代に於ける長崎の支那貿易 . . . . . 文學博士 矢野 仁一

スミス「富國民論」の基礎的考察 . . . . . 法學士 石川 興二

文化現象の凝集作用 . . . . . 法學士 恒藤 恭

## 說苑

我が國の地方費國庫補助制度 . . . . . 經濟學士 中川與之助

## 雜錄

大名領地について . . . . . 經濟學博士 本庄榮治郎

獨逸の租稅收入 . . . . . 經濟學博士 沙見 三郎

聚落に關する三新著 . . . . . 經濟學士 黑 正 巖

## 法令

銀行法施行期日ノ件・銀行法ニ依ル地域指定ノ件・銀行法ニ依ル銀行ノ特例ニ關スル件・銀行法ニ依ル人口一萬未満ノ地ヲ定ムルノ件・銀行法施行細則

## 附錄

本誌第二十五卷總目錄

# 法 令

東京市  
大阪市

附 則

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

銀行法第三十二條ノ規定ニ依ル銀行

ノ特例ニ關スル件

勅令第三百二十八號 (昭和二年十一月十五日)

銀行法、昭和二年法律第二十二號農  
工銀行法中改正法律、同年法律第二  
十三號北海道拓殖銀行法中改正法律  
及同年法律第二十四號貯蓄銀行法中  
改正法律施行期日ノ件

勅令第三百二十六號 (昭和二年十一月十五日)

左ノ法律ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

銀行法

昭和二年法律第二十二號

昭和二年法律第二十三號

昭和二年法律第二十四號

銀行法第三條第一項但書ノ規定ニ依

ル地域指定ノ件

勅令第三百二十七號 (昭和二年十一月十五日)

銀行法第三條第一項但書ノ規定ニ依リ地域ヲ指定スルコト左ノ

如シ

法 令

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

銀行法第三十二條ノ規定ニ依ル銀行

ノ特例ニ關スル件

勅令第三百二十八號 (昭和二年十一月十五日)

第一條 銀行法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ガ銀行法施行地内  
ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營ム場合ニ於テハ

銀行法第三條、第六條、第八條、第十二條乃至第十七條、第

二十五條、第二十七條及第二十八條ノ規定ヲ、尙外國銀行ニ

付テハ銀行法第四條及第五條ノ規定ヲ、外國銀行以外ノ銀行

ニ付テハ銀行法第二十九條乃至第三十一條ノ規定ヲ適用セス

レテ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 外國銀行ガ銀行法施行地内ニ營業所ヲ設ケ銀行業ヲ營  
ムニハ營業所毎ニ十萬圓ニ相當スル金額ノ國債又ハ大藏大臣

ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ供託スルコトヲ要ス

第三條 第一條ノ銀行中外國銀行以外ノ銀行ガ銀行法施行地内  
ニ營業所ヲ設ケ銀行業ヲ營ムニハ資本金百萬圓(支那ニ本店

ヲ有シ銀ヲ以テ資本ノ額ヲ定ムル銀行ニ在リテハ五十萬海關

兩ニ相當スル額)以上ノ株式會社ナルコトヲ要ス但シ銀行法

第三條ノ規定ニ依ル指定地域ニ支店ヲ設ケ銀行業ヲ營ム場合

第二十五卷

一二四一

第六號 一五三

ニ於ケル資本金ハ二百萬圓(支那ニ本店ヲ有シ銀ヲ以テ資本ノ額ヲ定ムル銀行ニ在リテハ百萬海關兩ニ當スル額)ヲ下ラザルモノナルコトヲ要ス

銀行法第三條第二項ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 外國銀行ハ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ於テハ保護預リ其ノ他ノ銀行業ニ附随スル業務ヲ營ムノ外他ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第五條 第一條ノ銀行ガ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ位置若ハ種類ヲ變更シ又ハ該營業所ニ於ケル銀行業ヲ廢止セントスルトキハ其ノ營業所ノ代表者ニ於テ大藏大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第六條 銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表者又ハ支配人ガ他ノ會社ノ常務ニ從事セントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第七條 外國銀行ガ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ於ケル

銀行業ヲ廢止シタル場合ニ於テ他ニ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ヲ有スルトキハ大藏大臣ハ廢止シタル營業ヲ他ノ營業所ヲシテ引繼ガシムルコトヲ得銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ付銀行營業ノ免許ヲ取消サレタル場合亦同ジ

第八條 前條ノ場合ヲ除クノ外外國銀行ノ本店ニ於ケル銀行業ヲ廢止シタルトキ又ハ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ付銀行業ヲ廢止シ若ハ銀行營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ外國銀行ハ其ノ營業所ニ關シテハ之ニ因リテ解散シタルモノト看做ス

第九條 外國銀行ガ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ付銀行營業ノ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テ清算人ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所之ヲ選任ス其ノ清算人ノ解任亦同ジ

第十條 外國銀行ガ解散シタル場合又ハ第八條ノ規定ニ依リ銀行營業ノ免許取消以外ノ事由ニ因リテ解散シタルモノト看做サレタル場合ニ於テ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ關スル清算ニ付テハ該營業所ノ代表者其ノ清算人ト爲ル

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得其ノ清算人ノ解任亦同ジ

前項ノ場合ヲ除クノ外裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ清算人ヲ解任シタルトキハ裁判所ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第十一條 第一條ノ銀行ニ付左ニ掲グル事由ノ生ジタルトキハ銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ代表者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ大藏大臣ニ届出ヅベシ

- 一 商號ノ變更
- 二 資本金ノ變更
- 三 本店ノ所在地ノ變更
- 四 本店ニ於ケル銀行業ノ廢止
- 五 解散又ハ合併

附則

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ銀行法施行地内ニ營業所ヲ設ケ銀行業ヲ營ム外國銀行ハ本令施行後五年内ニ第二條ノ供託ヲ爲スコトヲ要ス本令施行ノ際銀行法第三十二條第一項ノ營業所ニ於テ現ニ第四條ノ業務以外ノ業務ヲ營ム外國銀行ハ本令施行後五年ヲ限り仍其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表者又ハ支配人ニシテ現ニ他ノ會社ノ常務ニ從事スル者ハ本令施行後一年ヲ限り大藏大臣ノ認可ヲ受ケズシテ引續キ其ノ會社ノ常務ニ從事スルコトヲ得

〔參照〕

昭和二年(三月三十日公布)法律第二十一號銀行法抄錄

第三條 銀行業ハ資本金百萬圓以上ノ株式會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ但 勅令ヲ以テ指定スル地域ニ本店又ハ支店ヲ有スル銀行ノ資本金ハ二百萬圓ヲ下ルコトヲ得ズ  
前項但書ノ規定ニ依リ地域ノ指定アリタル場合ニ於テ其ノ地域ニ本店又ハ支店ヲ有スル銀行ニシテ資本金二百萬圓未滿ノモノハ指定ノ日ヨリ五年ヲ限り前項但書ノ資本金ニ依ラザルコトヲ得

第四條 銀行ハ其ノ商號中ニ銀行ナル文字ヲ用フベシ  
銀行ニ非ザルモノハ其ノ商號中ニ銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第五條 銀行ハ擔保附社債信託法ニ依リ擔保附社債ニ關スル信託業ヲ營ミ又ハ保護預リ其ノ他ノ銀行業ニ附隨スル業務

ヲ營ムノ外他ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第六條 銀行ハ左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

- 一 商號ヲ變更セントスルトキ
- 二 資本金ヲ變更セントスルトキ
- 三 支店其ノ他ノ營業所又ハ代理店ヲ設置セントスルトキ
- 四 本店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ變更セントスルトキ
- 五 支店以外ノ營業所ヲ支店ニ變更セントスルトキ
- 第八條 銀行ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツベシ
- 第十二條 銀行ノ監査役ハ銀行ノ業務及財産ノ狀況ニ關スル調査ノ結果ヲ記載シタル監査書ヲ每營業年度二回作成シテ之ヲ本店ニ備ヘ置クベシ
- 第十三條 銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ガ他ノ會社ノ常務ニ從事セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第十四條 銀行ノ合併ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
- 第十五條 銀行ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ預金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ
- 第十六條 銀行ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第七十八條第二項但書ノ期間ハ一月迄之ヲ下スコトヲ得合併ニ因ル株式併合ノ場合ニ於テ商法第二百二十條ノ二但書ノ期間ニ付亦同ジ

第十七條 銀行ガ合併ニ因リテ貯蓄銀行法第一條第一項ノ業

務ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ

其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ

繼續スルコトヲ妨グズ

貯蓄銀行法第九條、第十條及第十五條ノ規定ハ前項ノ場合

ニ之ヲ準用ス

第二十五條 銀行業ノ廢止又ハ銀行ノ解散ノ決議ハ主務大臣

ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十七條 銀行ガ營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ之ニ因

リテ解散ス

前項ノ場合ニ於テ清算人ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職

權ヲ以テ裁判所之ヲ選任ス其ノ清算人ノ解任亦同ジ

第二十八條 前條ノ場合ヲ除クノ外裁判所ハ利害關係人ノ請

求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ清算人ヲ解任シタルトキハ裁判所ハ清算

人ヲ選任スルコトヲ得

第二十九條 裁判所ハ銀行ノ清算事務及財産ノ狀況ヲ検査

シ、財産ノ併託ヲ命ジ其ノ他清算ノ監督ニ必要ナル命令ヲ

爲スコトヲ得

第三十條 銀行ノ清算、破産又ハ強制和議ノ場合ニ於テ裁判

所ハ銀行ノ検査監督ニ從事スル官吏ニ對シ意見ヲ求メ又ハ

検査若ハ調査ヲ囑託スルコトヲ得

第三十一條 銀行ノ清算、破産又ハ強制和議ノ場合ニ於テ銀

行ノ検査監督ニ從事スル官吏ハ裁判所ニ對シ意見ヲ述ブル

コトヲ得

第三十二條 本法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ガ本法施行地

内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスル

トキハ各營業所毎ニ代表者ヲ定メ第二條ノ規定ニ依ル免許

ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタルトキハ該營業所ハ本法ノ

適用ニ付之ヲ銀行ト看做ス此ノ場合ニ於テハ第二條乃至第

六條、第八條、第十二條乃至第十七條、第二十五條及第二

十七條乃至前條ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設

クルコトヲ得

第一項ノ免許ニ付テハ主務大臣ハ特ニ必要ナル制限ヲ附ス

ルコトヲ得

### 銀行法第四十一條第二項ノ規定ニ依

### ル人口一萬未滿ノ地ヲ定ムルノ件

勅令第三百二十九號 (昭和二年十一月十五日)

銀行法第四十一條第二項ノ地ハ大正十四年國勢調査ノ結果(大正十五年六月十一日內閣告示第一號)ニ依ル人口一萬未滿ノ町村トス

### 附則

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和二年(三月三十日公布)法律第二十一號銀行法抄錄

## 第四十一條第二項

命令ヲ以テ定ムル人口一萬未滿ノ地ニ本法施行ノ際現ニ本店ヲ有スル銀行ニ付テハ第三條第一項本文ノ規定ヲ適用セズ但シ其ノ資本金ハ本法施行後五年内ニ五十萬圓以上ト爲スコトヲ要ス

## 銀行法施行細則

大藏省令第三十一號 (昭和二年十一月十七日)

第一條 銀行業ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名シ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

### 一 定款

二 株式ノ引受ヲ證スルニ足ル書面

三 株式申込證ノ雛形並ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所

及申込株式數ヲ記載セル書面

四 取締役及監査役又ハ検査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類

五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

六 發起人が取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル

### 書類

七 創立總會ノ決議錄

八 會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記

載シタル書面

九 免許申請前日ニ於ケル日計表

十 預ケ先ノ預金證明書

株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

### 一 定款

二 會社登記簿ノ謄本

三 認可申請前日ニ於ケル日計表

四 免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

五 最終ノ財産目錄及貸借對照表

六 最終ノ損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面

七 株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

八 支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記

載シタル書面

第二條 銀行ガ營業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ六月内ニ業務ヲ開

始セザルトキハ其ノ免許ハ效力ヲ失フ但シ已ムヲ得ザル事由

アル場合ニ於テ豫メ大藏大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限

ニ在ラズ

第三條 銀行ガ業務ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ大藏大臣

ニ届出ツベシ

第四條 銀行ガ銀行法第六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル

トキハ認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出

スベシ

一 理由書

二 認可ヲ受ケル事項ニシテ定款ノ變更ヲ伴フ場合ニハ之ニ

關スル株主總會ノ決議錄

三 資本金ヲ減少スル場合ニハ第十二條第四號及第五號ニ掲

ケタル書類

四 資本金ヲ増加シ又ハ支店ヲ設置スル場合ニハ最近ノ日計

表

五 代理店ヲ設置スル場合ニハ代理店契約書

第五條 銀行ガ資本金ノ變更又ハ支店其ノ他ノ營業所若ハ代理店ノ設置ニ付認可ヲ受ケタル日ヨリ六月内ニ之ヲ實行セザルトキハ其ノ認可ハ效力ヲ失フ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ豫メ大藏大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ第一條第一項第八號ノ書面ニ記載シタル營業所ニ付之ヲ準用ス

第六條 銀行ノ本店及支店以外ノ營業所ニハ出張所ナル名稱ヲ附スベシ

第七條 代理店設置ノ認可ハ代理店ノ位置ニ變更アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ豫メ大藏大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 銀行法第十條ノ規定ニ依ル營業報告書ハ營業報告書、貸借對照表、損益計算書、準備金及利益ノ配當ニ關スル書面並ニ支拂準備ニ關スル明細書ニ分チ附屬雜形ニ依リテ之ヲ作成スベシ

前項ノ營業報告書ハ營業年度經過後一月内ニ大藏大臣ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ豫メ大藏大臣ノ承認ヲ受ケタルトキハ之ヲ提出スルコトヲ得

第九條 銀行ガ公告スベキ貸借對照表ハ大藏大臣ニ提出スル業

務報告書ノ一部タル貸借對照表ト同一ノ様式ニ依ルベシ

前項ノ貸借對照表ニハ取締役及監査役全員ノ氏名ヲ附記スベシ

第十條 銀行法第十二條ノ規定ニ依ル監査書ハ毎年一月ヨリ三月迄、四月ヨリ六月迄、七月ヨリ九月迄及十月ヨリ十二月迄ノ各期間ニ於ケル業務及財産ノ狀況ニ關シ調査シタル結果ヲ附屬雜形ニ依リテ記載作成シ各期間經過後一月内ニ之ヲ本店ニ備ヘ置クベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ期間内ニ監査書ヲ作成備ヘ置クコト能ハザリシ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ監査書ニ附記スベシ

第十一條 銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ガ他ノ會社ノ常務ニ從事セントスルトキハ認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 理由書

二 履歷書

三 銀行及常務ニ從事セントスル他ノ會社ニ於ケル常務ノ處理方法ヲ記載シタル書面

四 常務ニ從事セントスル他ノ會社ノ定款、最終ノ營業報告書、財産目錄、貸借對照表、損益計算書、利益ノ處分ニ關スル書面其ノ他最近ニ於ケル業務、財産及損益ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面

五 銀行ト常務ニ從事セントスル他ノ會社トノ取引其ノ他ノ關係ヲ記載シタル書面

第十二條 銀行ガ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ商法第七十八條

ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 株主總會ノ決議錄及社員ノ同意アリタルコトヲ知ルニ足ル書面

二 合併ニ關スル契約書

三 合併後存續スル銀行又ハ合併ニ因リ設立スル銀行ノ定款

四 商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表

五 商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告、催告及商法第二百二十條ノ二ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シタルコトヲ知ルニ足ル書面

第十三條 銀行ノ營業時間ハ午前九時ヨリ午後三時迄トス但シ營業ノ都合ニ依リ之ヲ伸長スルコトヲ得

地方ノ狀況ニ依リ前項本文ノ營業時間ヲ短縮セントスル場合ニハ大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 銀行ガ預金ノ拂戻ヲ停止スルトキハ直ニ銀行法第九條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル後遅滞ナク左ノ書類ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 預金拂戻停止前日ノ日計表及各種預金ノ口數ヲ記載シタル書面

二 預金ノ拂戻ヲ停止スルニ至リタル經過ヲ記載シタル書面

三 資産負債ノ實情ヲ明ニシタル書面

四 預金拂戻ニ關シ執ラントスル處置又ハ方針ヲ記載シタル書面

第十五條 銀行ガ銀行業ノ廢止又ハ解散ノ決議ヲ爲シタルトキハ認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 理由書

二 株主總會ノ決議錄

法 令

三 最近ノ日計表

四 資産負債ノ内容ヲ明ニシタル書面

五 預金ノ支拂方法ヲ記載シタル書面

第十六條 銀行ガ支店其ノ他ノ營業所又ハ代理店ヲ廢止シタルトキハ廢止ノ年月日、廢止ノ理由及預命者ニ對スル處置ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ遅滞ナク之ヲ大藏大臣ニ届出ヅベシ

第十七條 銀行ハ左ノ場合ニ於テハ遅滞ナク其ノ事山ヲ具シテ之ヲ大藏大臣ニ届出ヅベシ

一 定款ヲ變更シタルトキ

二 銀行法第六條及第十四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實行シタルトキ

三 銀行ヲ代表スル取締役又ハ銀行ノ常務ニ從事スル取締役若ハ支配人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

四 銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ニシテ他ノ會社ノ常務ニ從事スルモノガ該會社ノ常務ニ從事セザルニ至リタルトキ

五 代理店契約ノ變更、消滅又ハ更新アリタルトキ

六 預金拂戻停止中ノ銀行ガ預金ノ拂戻ヲ開始シタルトキ

七 和議開始ノ申立ヲ爲シ、和議認可ノ決定ガ確定シ又ハ和議ガ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

八 破産ノ宣告ヲ受ケ、破産宣告ニ對シ抗告ヲ爲シ又ハ抗告ニ對シ裁判所ノ決定ヲ受ケタルトキ

九 強制和議認可ノ決定ガ確定シ又ハ強制和議ガ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

十 會社合併ノ方法ニ依ラズシテ他人ノ營業ヲ讓受ケタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ株主總會ノ決議錄、第一號及第五號ノ場合ニ於テハ變更シタル條項ヲ記載シタル書面、第六號ノ場合ニ於テハ預金拂戻開始前日ノ日計表、第七號ノ場合ニ

第二十五卷 一二四七 第六號 一五九

於テハ和議ノ條件ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ  
銀行法第十八條第二項ノ事由ニ因リ休業シタル銀行ガ開業シ  
タルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第十八條 銀行法施行地外ニ本店ヲ有スル會社ガ銀行法施行地  
内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスルト  
キハ其ノ營業所ノ位置並ニ該營業所ニ付定メタル代表者ノ氏  
名及住所ヲ記載シタル免許申請書ニ會社代表者署名シテ左ノ書  
類ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ  
一 本店ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面  
二 會社ノ代表者タル資格ヲ證スル書面  
三 代理店ヲ設ケタルトキハ代理店契約書  
四 會社ノ定款又ハ會社ノ性質ヲ知ルニ足ル書面  
五 營業所ノ設置ガ他ノ官廳(外國官廳ヲ含ム)ノ認可ヲ要ス  
ルモノナルトキハ其ノ認可書ノ謄本  
六 會社ノ最終ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書、利益  
ノ處分ニ關スル書面其ノ他會社ノ營業狀態ヲ知ルニ足ル書  
面

七 會社ノ重ナル出資者及役員ノ氏名、國籍及住所ヲ記載シ  
タル書面

前項ノ規定ハ會社ニ非ズシテ銀行法施行地外ニ本店ヲ有スル  
モノガ銀行法施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行  
業ヲ營マントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 外國銀行ガ昭和二年勅令第三百二十八號第二條ノ規  
定ニ依リ供託スベキ有價證券ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ  
認可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ大藏  
大臣ニ提出スベシ

一 發行者及其ノ住所  
二 國債以外ノ公債又ハ社債ニ在リテハ利率並ニ擔保ノ有無  
及其ノ種類

三 取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實  
第二十條 昭和二年勅令第三百二十八號第二條ノ規定ニ依リ供  
託ハ各營業所所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第二十一條 外國銀行ハ昭和二年勅令第三百二十八號第二條ノ  
規定ニ依リ供託シタル國債又ハ有價證券ノ時價ガ營業年度末  
ニ於テ十萬圓ヲ下ルニ至リタルトキハ營業年度經過二月内  
ニ其ノ不足額ニ相當スル金額ノ國債又ハ大藏大臣ノ認可ヲ受  
ケタル有價證券ヲ供託スベシ

第二十二條 外國銀行ガ昭和二年勅令第三百二十八號第二條ノ  
規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ヲ添附シテ遲滞  
ナク之ヲ大藏大臣ニ届出ヅベシ

第二十三條 外國銀行ガ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ  
受ケントスルトキハ大藏大臣ノ承認ヲ受クベシ  
外國銀行ガ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由並ニ國  
債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額  
及時價ヲ記載シタル申請書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

第二十四條 第六條ノ規定ハ外國銀行ノ銀行法第三十二條第一  
項ノ營業所ニ付之ヲ適用セズ

第二十五條 銀行法第三十二條ノ銀行ハ銀行法第十條ノ規定ニ  
依リテ提出スベキ業務報告書ノ外其ノ營業ノ全部ニ關シ  
本店ニ於テ決算期ニ作成シタル營業報告書、貸借對照表、損  
益計算書及利益ノ配當ニ關スル書面等ヲ其ノ作成ノ都度遲滞  
ナク大藏大臣ニ提出スベシ

第二十六條 昭和二年勅令第三百二十八號第五條ノ規定ニ依リ  
認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ノ書類ヲ添附シテ  
之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 理由書  
二 定款ノ變更ヲ伴フ場合ニハ株主總會ノ決議錄  
三 營業所廢止ノ場合ニハ第十五條第三號乃至第五號ニ掲ゲ

タル書類

第二十七條 第十一條ノ規定ハ昭和二年勅令第三百二十八號第

六條ノ規定ニ依ル認可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 銀行法第三十二條ノ銀行ハ左ノ場合ニ於テハ遲滯

ナク其ノ事出ラ具シテ大藏大臣ニ届出ツベシ

一 昭和二年勅令第三百二十八號第五條ノ規定ニ依リ認可ヲ

受ケタル事項ヲ實行シタルトキ

二 銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ代表者ノ就任又ハ退

任アリタルトキ

三 銀行法第三十二條第一項ノ營業所ノ常務ニ從事スル代表

者ニシテ他ノ會社ノ常務ニ從事スルモノガ該會社ノ常務ニ

從事セザルニ至リタルトキ

第二十九條 銀行法、昭和二年勅令第三百二十八號又ハ本令ニ

依リ大藏大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ

要ス但シ銀行法第二十條ノ規定ニ依リ提出ヲ命ゼラレタル書

類及銀行法第二十一條ノ規定ニ依ル検査ニ關スル書類ハ此ノ

限ニ在ラス

第三十條 本令ニ依ル届出若ハ書類ノ提出ヲ怠リ又ハ其ノ届出

若ハ提出書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

ハ取締役、監査役、支配人又ハ銀行法第三十二條第一項ノ營

業所ノ代表者ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附則

第三十一條 本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 銀行條例施行細則ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依リテ爲シタル申請、認可其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ

相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十三條 本令施行ノ際現ニ存ス 株式會社以外ノ銀行ニ付

テハ本令中取締役トアルハ營業主(營業主法人ナルトキハ其

ノ業務ヲ執行スル社員)トシ株主總會ノ決議錄トアルハ合名

會社又ハ合資會社ニ在リテハ社員ノ同意アリタルコトヲ知ル

ニ足ル書面、商法施行前ニ設立シタル合資會社ニ在リテハ社

員總會ノ決議錄トシ定款トアルハ商法施行前ニ設立シタル合

資會社ニ在リテハ會社契約トス

第三十四條 商法施行前ニ設立シタル合資會社ニシテ舊法ニ依

リ營業ノ認可ヲ受ケタル銀行ガ其ノ組織ヲ變更シテ商法ニ定

メタル株式會社ト爲ラントスルトキハ認可ノ申請書ニ左ノ書類

ヲ添附シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

一 理由書

二 定款

三 社員總會ノ決議錄

四 商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照

表

五 商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告及催告ヲ爲シタ

ルコトヲ知ルニ足ル書面

第三十五條 第四條ノ規定ハ銀行法第四十四條ノ規定ニ依ル認

可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三十六條 第十五條ノ規定ハ銀行法第四十六條ノ規定ニ依ル

認可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三十七條 昭和二年十二月ニ至ル迄ノ銀行ノ業務ニ付テハ舊

令附屬雜形ニ準ジ業務報告書ヲ作成スベシ

(業務報告書雜形ハ略ス)

〔參照〕

昭和二年(三月三十日)公布法律第二十一號銀行法抄錄

一 商號ヲ變更セントスルトキ

二 資本金ヲ變更セントスルトキ

三 支店其ノ他ノ營業所又ハ代理店ヲ設置セントスルトキ

四 本店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ變更セントスルトキ  
五 支店以外ノ營業所ヲ支店ニ變更セントスルトキ  
第十條 銀行ハ營業年度毎ニ業報報告書ヲ作成シテ之ヲ主務大臣ニ提出スベシ

第十二條 銀行ノ監査役ハ銀行ノ業務及財産ノ狀況ニ關スル調査ノ結果ヲ記載シタル監査書ヲ每營業年度二回作成シテ之ヲ本店ニ備ヘ置クベシ

第十四條 銀行ノ合併ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條 銀行ノ休日ハ祭日、祝日、日曜日其ノ他銀行ノ營業所在地ニ行ハルル一般ノ休日ニ限ル

銀行ガ天災其ノ他避クベカラザル事變ニ因リ臨時ニ休業スルトキハ直ニ其ノ旨ヲ公告シ地方長官ニ届出ヅベシ

第十九條 銀行ガ預金ノ拂戻ヲ停止スルトキハ直ニ其ノ旨ヲ公告シ事由ヲ具シテ主務大臣ニ届出ヅベシ

第二十條 主務大臣ハ何時ニテモ銀行ヲシテ其ノ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ監査書其ノ他ノ書類帳簿ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十一條 主務大臣ハ何時ニテモ部下ノ官吏ニ命ジテ銀行ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十二條 本法施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ガ本法施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業務ヲ營マントスルトキハ各營業所毎ニ代表者ヲ定メ第二條ノ規定ニ依ル免許ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタルトキハ該營業所ハ本法ノ適用ニ付之ヲ銀行ト看做ス此ノ場合ニ於テハ第三條乃至第六條、第八條、第十二條乃至第十七條、第二十五條及第二十七條乃至前條ノ規定ニ拘ラス命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第一項ノ免許ニ付テハ主務大臣ハ特ニ必要ナル制限ヲ附スルコトヲ得

第四十四條 第三十九條第二項ノ銀行ノ本法施行ノ際現ニ有スル本店及支店以外ノ營業所又ハ代理店ハ本法施行後一年

内ニ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ存続スルコトヲ得ズ

前項ノ認可申請書ハ本法施行後三月内ニ主務大臣ニ提出スベシ

第四十六條 第三十九條第二項ノ銀行ニシテ株式会社又ハ外國銀行以外ノモノノ業ヲ廢止ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

明治三十二年(三月九日公布)法律第四十八號商法抄錄

第七十八條 會社ガ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

會社ハ前項ノ期間内ニ其債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二ヶ月ヲ下ルコトヲ得ズ

第二百二十條ノ二 資本減少ノ爲メ株式ヲ併合スヘキ場合ニ於テハ會社ハ株主ニ對シ一定ノ期間内ニ株券ヲ會社ニ提供スヘキ旨及ヒ其期間内ニ之ヲ提供セザルトキハ株主ノ權利ヲ失フヘキ旨ヲ通知スルコトヲ得但其期間ハ三ヶ月ヲ下ルコトヲ得ズ

昭和二年(十一月十六日公布)勅令第三百二十八號ハ銀行法第三十二條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例ニ關スル件ナリ